

山形県文化推進基本計画関連事業の取組状況

資料 2

事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度 当初予算 (千円)	令和5年度の方向性	担当課
1 文化の振興等					
(1) 芸術・生活文化等の振興					
県民芸術祭開催事業	・県民の芸術文化活動に参加する意欲を醸成し、芸術文化に対する理解と関心を深め、先人から受け継いだ芸術文化の未来への創造と振興に資するため、県・生涯学習文化財団・県芸術文化協会からなる実行委員会を組織し、県民芸術祭を開催する。	・県民芸術祭に、県内各地の芸術文化団体の文化事業（展覧会、コンサート等）が参加（128団体） 開催期間 R4.9.1～R5.1.31 ・9月3日（日）に新庄市で開幕式典・記念公演を開催 ・特に優れた文化事業に県民芸術祭優秀賞等を贈呈	2,036	・県生涯学習文化財団、県芸術文化協会と連携しながら、県民の芸術文化活動に参加する意欲を醸成し、芸術文化に対する理解と関心を深め、芸術文化の振興に資するため、継続して県民芸術祭を開催する。	文化スポーツ振興課
県芸文美術館維持管理事業	・県民に美術作品等の発表及び鑑賞の場を提供し、本県文化の振興を図るため、山形県芸文美術館の維持管理経費を負担する。	・県民ギャラリーとして県民に美術作品等の発表及び鑑賞の場を創出し、各種の展示会等を開催 ・入館者数は新型コロナの影響を受け、例年の7割程度となっている。	17,470	・県民に美術作品等の発表及び鑑賞の場を提供し、本県芸術文化の振興を図るため、継続して山形県芸文美術館の維持管理経費を負担する。	文化スポーツ振興課
音楽団体支援事業	・本県の文化芸術の普及及び振興に資する芸術文化団体を育成するため、（公財）山形交響楽協会が文化芸術活動を行う場合に、その活動を支援する。	・（公社）山形交響楽協会が実施する演奏会やスクールコンサートを支援	30,022	・引き続き（公社）山形交響楽協会が実施する文化芸術活動を支援し、本県の文化芸術の振興を図る。	文化スポーツ振興課
アートサポート事業	・県内の文化活動活性化のため、県内文化団体等が実施する先進的・創造的モデル的な発表事業や人材育成事業等に対し支援する。	・県内の芸術文化団体が行う発表事業に対して対象経費を助成 応募件数 8件 採択件数 8件 助成実績 8件 1,771千円	2,467	・引き続き、県内文化団体等が実施する先進的・創造的・モデル的な発表事業や人材育成事業等に対し支援し、県内の文化活動の活性化を図る。	（公財）山形県生涯学習文化財団
文翔館文化活動支援事業	・文翔館を活用した県民の芸術文化活動に対し、初期の立ち上がり支援を行い、県民の文化活動機会の拡充を図る。	・県内の個人や文化団体が文翔館ギャラリーを使用して行う展示事業に対して、施設使用料を助成 申請件数 2件 採択件数 2件 助成実績 2件 51千円	111	・引き続き、文翔館を活用した県民の芸術文化活動に対し、初期の立ち上がり支援を行い、県民の文化活動機会の拡充を図る。	（公財）山形県生涯学習文化財団
置賜文化活動推進事業費	・置賜管内市町・芸術文化協会・県で構成する「置賜文化フォーラム」による文化事業を実施し、置賜地域全体の文化活動の振興を図る。 地域文化振興支援事業の実施 置賜こども芸術祭の実施の実施 おきたま若手アーティストの魅力発信事業の実施	・地域文化振興支援事業で、置賜地域の住民が企画・運営する文化事業に対して補助支援を決定（7事業） ※決定後、新型コロナの影響により1事業が中止 ・置賜こども芸術祭（吹奏楽、舞台芸術、演劇の3部門）を開催 ※演劇部門が出演団体を確保できず中止 ・「ARTS MEET OKITAMA2023」で、置賜地域で活躍する若手アーティストの魅力を発信（R5.3.11～3.19）	1,387	・置賜地域の住民が企画・運営する文化事業への補助支援の実施。 ・置賜こども芸術祭の開催。 ・置賜地域で活躍する若手アーティストの魅力を発信する事業の実施。	置賜総合支庁総務企画部総務課 連携支援室
県立文化施設管理運営費 （置賜総合支庁）	・置賜地域において、置賜文化ホールを管理運営し、県民の文化活動を促進し、本県の文化の向上に寄与する。 （指定管理者：米沢市）	・置賜文化ホールの大ホール、大会議室等の貸館事業及び管理運営を実施 ・施設の設備について修繕を実施	114,162	・引き続き、置賜文化ホールの管理運営について指定管理者である米沢市に委託して実施するとともに、施設の設備について修繕を実施していく。	置賜総合支庁総務企画部総務課 連携支援室
(2) 伝統芸能等の継承及び発展					
伝統芸能育成事業	・伝統芸能や伝承文化等を記録保存する「ふるさと塾アーカイブス」のコンテンツの充実を図る。 ・伝統芸能や伝承文化等の指導者の資質向上、研修会、出前講座の開催する。	・ふるさと塾アーカイブスに新規動画5本、英語表記動画4本を追加 ・ふるさと塾登録団体の指導者が学校等で子どもたちに指導する出前講座、指導者の技能向上を目的とした指導者研修会を開催	2,119	・引き続き地域コミュニティの活性化と子どもの郷土愛の醸成及び社会力の育成を目指して伝統芸能育成事業の充実を図る。	教育局生涯教育・学習振興課

	事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度 当初予算 (千円)	令和5年度の方向性	担当課
	伝統芸能育成事業	・市町村の地域の文化等を伝承する活動基盤をより強固なものにするために、市町村が地域課題等の実態に合わせて計画した事業を支援する。(市町村総合交付金)	・30市町村に交付金を交付 (交付事業) 市町村独自の団体の発表の機会の創出、フェスティバル等の開催 学校や放課後子ども教室等における体験の場の創出 民俗芸能の継承のための衣装や備品の更新や修復等	4,002	・引き続き総合交付金の理念に基づき、市町村が伝統芸能育成に関する課題に応じて主体的に解決できるように支援する。	教育局生涯教育・学習振興課
		・「ふるさと芸能のつどい」を開催する。 ・北海道東北ブロック民俗芸能大会への派遣事業を実施する。	・やまがた伝統文化フェスタ内で「ふるさと芸能のつどい」を開催(R4.11.27) ・北海道・東北ブロック民俗芸能大会は、青森県で開催され、本県から1団体が参加(R4.10.16)	1,288	・引き続き山形県の伝統文化に触れる機会を充実させ、文化振興・郷土愛の情勢を図る。	博物館・文化財活用課
	芸術文化振興事業費	・(公財)米沢上杉文化振興財団が置賜文化ホールで実施する自主事業に対して支援する。 (「地域の文化創造・支援事業」及び「能楽関係事業」)	・「地域の文化創造・支援事業」でJAZZコンサート等を実施(4事業) ・「能楽関係事業」でこども狂言クラブ等の狂言や能楽の事業を実施(4事業)	4,068	・引き続き、置賜文化ホールで実施する地域のアマチュアによる事業及び能舞台を有する館の特色を活かした事業に対し補助支援し、置賜地域の文化振興を図る。	置賜総合支庁総務企画部総務課 連携支援室
	地域創造負担金	・(一財)地域創造による市町村への支援を通じ、本県文化水準の維持向上及び県民の文化芸術に触れる機会の充実を図る。	・(一財)地域創造の助成制度に、県内2市の5事業が採択	4,108	・(一財)地域創造の助成制度をより一層活用し、県民の文化芸術に触れる機会の充実及び伝統文化の継承・発展を図る。	文化スポーツ振興課
(3) 特色ある文化の継承及び発展						
	「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業	・「未来に伝える山形の宝」登録制度を推進する。 ・登録された取組みへの支援を行う。(補助金) ・巡回パネル展やポータルサイトによる情報発信、普及啓発を行う。	・登録団体は、新たに2団体が登録し33団体となった ・登録団体の事業の支援(補助金)(5件) ・各団体の取組み状況を紹介するパネル展を実施 ・公式SNS等により、登録団体の活動状況について情報発信を行った	3,006	・文化財の保存・活用に取り組んでいる団体の掘り起こしを行う。 ・山形県文化財保存活用大綱の基本方針に基づき、登録団体の取組みへの支援を行う。 ・登録団体の活動状況等について、ポータルサイト等で発信を続け、取組み事例を県内全域に広める。	博物館・文化財活用課
	食育・地産地消推進事業費	・山形県食育・地産地消推進計画の普及啓発、食育県民大会を開催する。 ・市町村等における食育推進活動への支援を行う。	・食育県民大会の開催により、食育・地産地消の重要性について県民の理解増進を図るとともに県産農産物のPRを実施(R5.1.24) ・農業体験への指導者派遣により、園児・児童が農と食に触れる機会を提供 ・県内の推進体制強化を図るため「山形県食育・地産地消推進会議」を開催	8,311	・引き続き食育県民大会、食育・地産地消推進会議等を開催し、食育・地産地消の機運醸成、推進体制の強化に努める。 ・食農体験事業を継続して実施するとともに、保育園や幼稚園、小学校等に対し事業内容の更なる周知を図り、参加を促進する。	県産米・農産物ブランド推進課
	心を育む学校給食週間	・県内の各学校において、任意の一週間を設定し、児童生徒の豊かな心を育むための食育指導を行う。 ・その取組みの一環として、地域の伝統食材や郷土料理の学習や給食での提供を実施している。	・学校給食を実施している市町村及び県立学校において、「日本各地の郷土料理」、「おいしいふるさと給食」、「伝統野菜を使った給食」等、山形の地元食材や地域の食文化に触れる取組み等を実施(令和4年度は348校で実施) ・取組みを通して、児童生徒が日本の食文化を学んでいる	0	・県ホームページに優良事例を掲載するなど、引き続き、県内の各学校における食育指導を推進する。 ・取組みの一環として、県内各地域の伝統食材や郷土料理の学習、それらの給食での提供を推進する。	教育局スポーツ保健課
	地域の教育力を高める生涯学習環境の充実	・青少年教育施設における主催事業を実施する。 少年自然の家等で郷土料理に関する事業や伝承文化を体験する主催事業を実施する。 (研修事業費及び全施設の指定管理料の一部)	・伝承文化の体験を取り入れた事業を2施設で実施(参加者数計69名)(うち1施設参加者44名は郷土料理体験を含む)	229,147 の一部	・可能な範囲で各施設の事業において伝承文化等に触れる機会を提供することを検討していく。	教育局生涯教育・学習振興課

事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度 当初予算 (千円)	令和5年度の方向性	担当課
やまがた野菜の普及拡大	・やまがた野菜の普及拡大を図るため、平成21年度（平成24年3月改訂）及び平成30年度（令和4年3月改訂）に作成した「やまがた野菜レシピ集」を活用し、各市町食生活改善推進協議会が実施する料理教室の開催を支援する。	・村山地域の14市町で延べ29回の料理教室を開催	195	・引き続き、当該料理教室の開催を支援し、やまがた野菜の普及拡大を図る。	村山総合支庁産業経済部地域産業経済課
「やまがた野菜・イタリア野菜料理フェア」の開催	・村山地域において古くから郷土の食材として親しまれ、地域の生活や風土に根ざした「やまがた野菜」と寒暖差の大きいイタリア北部と似た気候を活かして栽培されている「イタリア野菜」の利活用と消費拡大を図るとともに、観光誘客と交流拡大を目的として「やまがた野菜・イタリア野菜料理フェア」を開催する。	・「やまがた野菜・イタリア野菜料理フェア」を開催 開催時期 R4. 8. 6～8. 28 R4. 11. 5～11. 27 協賛店舗 村山地域の料理店23店舗	1,291	・引き続きやまがた野菜・イタリア野菜料理フェアを開催し、やまがた野菜及びイタリア野菜に対する県民のより一層の認知度向上を図る。	村山総合支庁産業経済部地域産業経済課
やまがた雪文化マイスター認定事業	・やまがたの未来を担う子どもたちに雪国の文化や冬の楽しさを伝える人材を「やまがた雪文化マイスター」として認定する。 ・マイスターの活動について、ウェブサイトやイベント等で紹介・発信を行う。	・令和4年度新たに1団体をマイスターとして認定（累計の認定件数45件） ・最上町と共催で新規のマイスター活用イベントを実施 ・冬季イベント「やまがた音と光のファンタジア」において、マイスターによるブース出展を行い、活動紹介や商品販売、ワークショップを実施した。	57	・引き続き新たなマイスター候補の発掘を図るとともに、学校等への紹介やイベントの活用によりマイスター活動機会の創出を図る。	移住定住・地域活力創生課
わくわく！やまがた体験事業【新規】	・幼い頃からの自然体験・文化体験等を通してふるさと山形への理解促進や郷土愛醸成を目的として、自然、文化、農業、ものづくり、県有施設など「山形らしさ」を体験できるコンテンツを組み合わせたバスツアーを実施する。	・109の保育施設においてバスツアーを実施し、2,938名がツアーに参加した。 開催時期：R4. 6. 9～R5. 3. 2	6,884	・対象を保育施設から親子に変更して、県内各地域の選りすぐりのメニューを揃えたバスツアーを実施し、より一層の郷土愛醸成、山形への理解促進を図る。	しあわせ子育て政策課
日本遺産魅力発信事業	・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営に対する支援を行う。	・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営のための負担金の支出 人材育成事業：英語ガイド育成 普及啓発事業：親子を対象として伝統文化体験事業の実施 ・山口県や東京都で行われた全国イベントにおいて山形県の日本遺産をPRした。	1,900	・引き続き、出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営に対する支援や山形県の日本遺産のPRを実施する。	博物館・文化財活用課
(4) 文化財等の保存及び活用					
「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業【再掲】	・「未来に伝える山形の宝」登録制度を推進する。 ・登録された取組みへの支援を行う。（補助金） ・巡回パネル展やポータルサイトによる情報発信、普及啓発を行う。	・登録団体は、新たに2団体が登録し33団体となった ・登録団体の事業の支援（補助金）（5件） ・各団体の取組み状況を紹介するパネル展を実施 ・公式SNS等により、登録団体の活動状況について情報発信を行った	3,006	・文化財の保存・活用に取り組んでいる団体の掘り起こしを行う。 ・山形県文化財保存活用大綱の基本方針に基づき、登録団体の取組みへの支援を行う。 ・登録団体の活動状況等について、ポータルサイト等で発信を続け、取組み事例を県内全域に広める。	博物館・文化財活用課
日本遺産魅力発信事業【再掲】	・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営に対する支援を行う。	・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営のための負担金の支出 人材育成事業：英語ガイド育成 普及啓発事業：親子を対象として伝統文化体験事業の実施 ・山口県や東京都で行われた全国イベントにおいて山形県の日本遺産をPRした	1,900	・引き続き、出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営に対する支援や山形県の日本遺産のPRを実施する。	博物館・文化財活用課
文化財保護事業費	・文化財の所有者、管理者が実施する維持管理及び保存修理に対する支援を行う。 ・県指定文化財の損傷状態の調査を実施する。	・国、県指定文化財の保存修理等に関する事業に対し、事業費の一部を補助（国指定19件、県指定3件） ・国、県指定文化財の管理に関する事業に対し、事業費の一部を補助（国指定27件、県指定9件） ・県指定文化財の損傷状態の調査の実施（6件）	52,858	・国、県指定文化財の保存修理等に関する事業に対し、事業費の一部を助成する。（国指定21件、県指定2件） ・国、県指定文化財の管理に関する事業に対し、事業費の一部を助成する。（国指定27件、県指定11件） ・県指定文化財の損傷状態の調査を実施する。（19件）	博物館・文化財活用課

	事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度 当初予算 (千円)	令和5年度の方向性	担当課
	埋蔵文化財保護事業費	・農林事業発掘調査を実施する。 ・埋蔵文化財の普及啓発事業を実施する。	・農林公共事業に係る埋蔵文化財発掘調査を実施（1件） ・埋蔵文化財の普及啓発事業を実施 小学校等への出前授業（17件） 市町村への巡回展示（3か所）、資料貸出 発掘調査速報会の開催（R5.3.5）	54,544	・農林公共事業に係る埋蔵文化財発掘調査を実施する。 ・埋蔵文化財の普及啓発に向けた事業を実施する。（小学校等への出前授業（17件）等）	博物館・文化財活用課
	郷土館施設の貸与に関する事業 (山形県郷土館)	・文化振興拠点として、郷土館（文翔館）の適正な保存管理と公開・貸与を実施する。 ・本県のランドマークである文翔館をより多くの方々に知っていただき、来館者の増加と利便を図るため文翔館グッズを制作し販売する。	・郷土館の一般公開や貸館管理、グッズの制作・販売を実施 一般入館者数 98,935人 施設使用料（貸館）収入 5,568,255円 オリジナルグッズ売上金額 257,800円	5,796	・引き続き、文化振興拠点として、郷土館（文翔館）の適正な保存管理と公開・貸与を実施する。併せて、本県のランドマークである文翔館をより多くの方々に知っていただき、来館者の増加と利便を図るため文翔館グッズを制作し販売する。	(公財)山形県生涯学習文化財団
	文化基盤施設整備事業費 (山形県郷土館)	・国指定重要文化財であり、本県の重要な観光資源でもある山形県郷土館（文翔館）を保存するため、計画的に修繕、整備を行う。	・設備の老朽化に伴う冷暖房設備改修工事等を実施	72,701	・県郷土館は、復原後27年が経過し老朽化しており、国指定重要文化財として適切に維持・保存していくため、計画的に修繕、整備を行う。	文化スポーツ振興課
2 文化に親しむ環境づくり						
(1) 県民の文化に親しむ機会の充実						
	美術館等支援事業	・美術館・博物館が行う企画展へ支援することにより、美術館・博物館事業の充実を図り、県民が優れた芸術文化に触れる機会を提供する。	・県と県内4つの美術館・博物館が企画展・収蔵品展等を共同主催で開催（32企画展）	26,625	・引き続き、県内の主要な美術館・博物館と連携した企画展等の開催を通じ、県民が良質な文化芸術に触れる機会を創出する。	文化スポーツ振興課
	文化団体等連携支援事業	・本県文化の基盤を支えている県内の中核的な文化施設や芸術団体の活動に対して県と連携して支援を行い、本県の文化水準の維持向上を図る。	・(公財)山形美術館、(公社)山形交響楽協会など5団体に対して助成金を交付（19,750千円） ・県民芸術祭に対して共催負担金を支出（2,000千円） ・芸文協60周年記念負担金（300千円）ほか	21,800	・引き続き、本県文化の基盤を支えている県内の中核的な文化施設や芸術団体の活動に対して県と連携して支援を行い、本県の文化水準の維持向上を図る。	(公財)山形県生涯学習文化財団
	山形県文化芸術交流発信事業費	・県と文化芸術活動の中核的団体が共同主催（山形県文化芸術交流発信事業実行委員会を組織）により、良質な各種文化芸術鑑賞事業等を実施する。	・県と(公財)山形美術館、(公社)山形交響楽協会などの中核的文化団体が共催で多種多様な文化芸術事業を実施（16事業）	33,428	・引き続き、文翔館を会場とした文化芸術事業や、大人から子どもまで楽しめるコンサート、日本のメディア芸術を発信する展覧会などの開催を通じ、県民に良質な文化芸術に触れる機会を創出する。	文化スポーツ振興課 (公財)山形県生涯学習文化財団
	山形交響楽団活用事業	・市町村が山形交響楽団を活用して実施するオーケストラ演奏会事業に対して支援する。	・県内8市町が実施する山形交響楽団を活用した演奏会事業を支援し、県民が気軽に高レベルのオーケストラ演奏に触れる機会を創出	5,040	・県内市町村が実施する山形交響楽団を活用した演奏会事業を引き続き支援する。	文化スポーツ振興課
	文翔館芸術劇場 (山形県郷土館)	・県内ではめったに公演されない質の高い一流ミュージシャンのコンサートを鑑賞してもらうことにより、様々な音楽分野等への魅力を発見してもらい、芸術文化活動に対する参加意欲と機運を醸成し、各分野のファン予備軍を増やすことにより、芸術文化に対する理解や創造を一層深めてもらう。	・文翔館議場ホールにおいてコンサート等の鑑賞事業を実施 辻彩奈&阪田知樹デュオ・リサイタル（R4.7.23） 柳家花緑独演会（R4.10.22） 森麻季ソプラノ・リサイタル（R4.12.16）	4,802	・引き続き、質の高い一流アーティストのコンサートや高座の鑑賞機会を設け、県民の芸術分野等への興味・関心を高め、ファンを増やすことによって芸術文化活動に対する参加意欲と機運の醸成を図っていく。	(公財)山形県生涯学習文化財団

	事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度当初予算(千円)	令和5年度の方向性	担当課
	山形県総合文化芸術館事業費	・山形県総合文化芸術館文化機能指定管理者との共同主催により、山形県総合文化芸術館を拠点として、①本格舞台芸術鑑賞機会拡大事業（施設を活かした質の高い本格的な芸術鑑賞の機会を地元で得られることによる誇りの醸成及び県民の文化力の向上に資するもの）、②総合文化芸術館体感事業（児童生徒や親子等が気軽に来館し、体験を通して施設に親しむとともに、文化芸術への関心を高める機会を創出するもの）を実施する。	・やまぎん県民ホールにおいて多彩な鑑賞事業や体験企画を実施 【主な実績】 ・GROUND WARE 2022 東北技術工科大学 工学・テキスタイルコース3年生展 （R4.6.22～7.3） ・やまぎん県民ホール「舞台のお仕事体験会」 （R4.8.20） ・やまがたオペラフェスティバル オープニングスペシャルコンサート～オペラな世界へようこそ～ （R4.11.8） ・ママパパ応援イベントYAMAGATA MAM'S ON THE STAGE （R4.11.21） ・やまがたオペラフェスティバル NISSAY OPERA 2022 『セビリアの理髪師』 （R4.12.10） ・やまがた文化の回廊フェスティバル （R5.3.17～3.26） ・KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『蜘蛛巣城』 （R5.3.30）	20,600	・東北最大の舞台を活かした本格的な舞台芸術の鑑賞機会を拡大し、県民の誇りの醸成と文化力向上を図る。 ・幼少期から気軽に来館できる機会を設け、施設への親しみを育む。	文化スポーツ振興課 県民文化館・西口広場にぎわい創出推進室
	芸術文化鑑賞普及事業	・プロオーケストラとアマチュアミュージシャンや地元小中高吹奏楽・合唱団等との共演、ワークショップ等、普段聞くことや体験することができないコンサートを山形交響楽団と連携し、県内3か所で実施する。	・県内3か所で、山形交響楽団と連携したコンサートを開催 山響ハートフルコンサートin大石田（大石田町） （R4.12.2） 山響とみんなで創る音楽会inおおえ（大江町） （R3.8.22） オペラって面白い！ドン・ジョヴァンニ～モーツァルトの世界へようこそ～（高島町）（R5.2.19）	8,963	・引き続き、プロオーケストラとアマチュアミュージシャンや地元小中高吹奏楽・合唱団等との共演、ワークショップ等、普段聞くことや体験する機会が少ないコンサートを山形交響楽団と連携し、県内3か所で開催し、文化振興に資する。	（公財）山形県生涯学習文化財団
	博物館活動整備事業費 （山形県立博物館）	・企画展の開催 山形の宝である貴重な資料の展示や、本県の自然や歴史、精神文化などを分かりやすく解説する企画展を開催する。 ・学習会・研修会の実施 博物館で収蔵している優れた資料を県民に広く周知し、理解を深めるとともに博物館の機能強化のため更なるデータの蓄積・整理を行う機会とする。	・県立博物館において企画展を開催 プライム企画展「女神たちの饗宴—『縄文の女神』国宝指定10周年—」（令和4年10月～12月に開催） ・学習会・研修会の実施 博物館講座 6回 国宝土偶縄文の女神解説会 5回 古文書講座 12回 ・専門分野の調査研究の成果紹介や外部研究機関の協力を得て、地域の歴史・文化の理解を深めるための機会を提供した。	4,591	・企画展を開催する。 プライム企画展「高等女学校と実科高等女学校—青春の学びと生活—」および特別展「Bones—生き物の骨格はどうなっているのか—」を開催し、また、同時に開催する記念イベント等により、山形の歴史を知っていただくとともに、来館者増につなげ県の魅力を発信する。 ・学習会・研修会を実施する。 博物館の収蔵品や調査研究成果を紹介するセレクション展および学習会や研修会を開催し、地域の自然・歴史・文化に触れる機会を知を図る。	博物館・文化財活用課
		・県立博物館の移転整備に向けた検討を実施する。	・有識者懇談会の実施 ・参考事例訪問調査の実施	9,430	・専門家懇談会の実施 ・新博物館あり方検討事前調査の実施 ・参考事例訪問調査の実施	博物館・文化財活用課
	（2）文化施設の充実及び活用促進					
	博物館活動整備事業費【再掲】 （山形県立博物館）	・企画展の開催 山形の宝である貴重な資料の展示や、本県の自然や歴史、精神文化などを分かりやすく解説する企画展を開催する。 ・学習会・研修会の実施 博物館で収蔵している優れた資料を県民に広く周知し、理解を深めるとともに博物館の機能強化のため更なるデータの蓄積・整理を行う機会とする。	・県立博物館において企画展を開催 プライム企画展「女神たちの饗宴—『縄文の女神』国宝指定10周年—」（令和4年10月～12月に開催） ・学習会・研修会の実施 博物館講座 6回 国宝土偶縄文の女神解説会 5回 古文書講座 12回 ・専門分野の調査研究の成果紹介や外部研究機関の協力を得て、地域の歴史・文化の理解を深めるための機会を提供した。	4,591	・企画展を開催する。 プライム企画展「高等女学校と実科高等女学校—青春の学びと生活—」および特別展「Bones—生き物の骨格はどうなっているのか—」を開催し、また、同時に開催する記念イベント等により、山形の歴史を知っていただくとともに、来館者増につなげ県の魅力を発信する。 ・学習会・研修会を実施する。 博物館の収蔵品や調査研究成果を紹介するセレクション展および学習会や研修会を開催し、地域の自然・歴史・文化に触れる機会を知を図る。	博物館・文化財活用課

	事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度当初予算(千円)	令和5年度の方向性	担当課
	博物館活動整備事業費【再掲】 (山形県立博物館)	・県立博物館の移転整備に向けた検討を実施する。	・有識者懇談会の実施 ・参考事例訪問調査の実施	9,430	・専門家懇談会の実施 ・新博物館あり方検討事前調査の実施 ・参考事例訪問調査の実施	博物館・文化財活用課
	風土記の丘考古資料館運営	・県立うきたむ風土記の丘考古資料館の管理運営及び埋蔵文化財を活用した企画展・講座・体験事業等の普及啓発活動を行う。	・企画展「最上地域の縄文時代」を開催したほか、企画展示に関連する講座・セミナーを実施 ・各種体験事業を実施(年間6回)	17,766	・引き続き、埋蔵文化財を活用した企画展・講座・体験事業等の普及啓発活動の実施を通じ、県民が埋蔵文化財に触れる機会を創出していく。	博物館・文化財活用課
	県民が集い・学ぶ県立図書館整備事業費	・県民の知的活動を支え、地域の賑わいの拠点となる図書館づくりの推進	・県立図書館の賑わい創出(企画展示・イベント等の実施) ・【令和4年度で終了】本県の豊かな自然、歴史や文化、産業等に係る郷土資料等の蔵書の充実 ・【令和4年度で終了】貴重資料のデジタル化を実施	1,876	・県立図書館の賑わい創出(企画展示・イベント等の実施) ・【新規事業】電子図書館(電子書籍貸出サービス)にかかる調査研究	教育局生涯教育・学習振興課
	県郷土館(文翔館)及び県政史緑地運営	・県郷土館(文翔館)及び県政史緑地の管理運営及び施設を活用した多様な文化芸術活動の場を提供する。	・国指定重要文化財である文翔館を一般公開 ・文翔館議場ホールやギャラリーを一般に貸出し、県民の多彩な文化芸術活動に活用された。 ・新型コロナや設備更新工事に伴う一部利用制限により、入館者数は例年の7割程度となっている。	99,893	・引き続き、文翔館を維持管理し良好な状態で次世代に継承していくとともに、県民の文化活動の場として提供し本県の文化芸術の振興を図る。	文化スポーツ振興課
	文翔館収蔵品展・企画展	・本県の郷土史や郷土文化への理解を深めるための企画展や、県郷土館(文翔館)が所蔵する貴重な資料を公開展示する収蔵品展を実施する。(予算は、管理運営費から充当する)	・文翔館で企画展を開催 文翔館企画展「やまがたの宝パネル展～建造物編～」 (R5.2.18～3.19)	102,687の一部	・引き続き、本県の郷土史や郷土文化への関心・理解を深めるための企画展や文翔館が所有する貴重な資料を公開展示し、本県文化振興を図る。(予算は、管理運営費(102,687千円)から支出する)	(公財)山形県生涯学習文化財団
	文化団体等連携推進事業	・東北各県及び文化団体等とネットワークを緊密にし、連携による文化施設等の機能の強化を図るための具体的な推進策について検討する。 ・「東北文化の日」の推進のため、東北圏内の文化の情報を取りまとめ、パンフレットやホームページ等で効果的に情報発信する。	・「東北文化の日」の推進のため、東北圏内の文化の情報を取りまとめ発行したパンフレットに、県内では51施設、60イベントを掲載 ・遊学館1階展示ブースにおいて、「東北文化の日」に関する展示を行い、県内参加施設やイベントの紹介を行うなど、効果的な情報発信に取り組んだ。	92	・引き続き東北各県及び文化団体等とネットワークを緊密にし、連携による文化施設等の機能の強化を図るため、「東北文化の日」を契機として、東北圏内の文化の情報を取りまとめ、パンフレットやホームページ等で効果的に情報発信していく。	文化スポーツ振興課
	障がいのある人もない人も共生する社会づくり事業費	・障がい者の芸術活動を幅広く県民に情報発信する拠点として「やまがた障がい者芸術活動推進センター」の活動を支援する。	・展覧会の開催等を行う「やまがたアートサポートセンター(旧やまがた障がい者芸術活動支援センターR2.7月名称変更)」の活動を支援 「きざしとまなざし2022やまがた障がい者芸術作品公募展」 (R4.11.3～16) 会場：悠創館 来場者数：683名	5,783	・引き続きやまがたやまがたアートサポートセンターが実施する活動を支援し、本県の障がい者芸術の振興と障がい者の自立と社会参加の促進を図る。	障がい福祉課
(3) 事業者による文化活動等の推進						
	NPO活動促進事業	・社会貢献活動に積極的に取り組んでいる県内のNPO法人やボランティア団体が行う事業に助成する。	・特定非営利活動法人その他の社会貢献活動を行う団体への支援を行い、社会全体で社会貢献活動を支える気運の醸成を行っている。 採択事業数：37事業 助成実績額：39,166千円	47,626	・引き続き、特定非営利活動法人その他の社会貢献活動を行う団体への支援を行い、社会全体で社会貢献活動を支える気運の醸成を行っていく。	消費生活・地域安全課
(4) 文化情報の収集及び提供・発信						
	情報発信事業	・HP「やまがたマナビィnet」において「講座・イベント情報」、「総合文化情報」を提供する。	・スマートフォンやタブレットに対応したことや文翔館トップページから総合文化情報にアクセスできる仕組みを構築したことで、文化情報収集の利便性が向上した。また、文化情報のサイトもサブ階層を少なくしたことから、これまで以上に容易に必要な情報収集が可能になった。	1,102	・引き続き、総合文化情報を生涯学習センターの「やまがたマナビィnet」から情報発信するとともに、文翔館ページからも情報提供を行っていく。	(公財)山形県生涯学習文化財団

事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度当初予算(千円)	令和5年度の方向性	担当課
県立図書館運営費	・インターネットによる情報発信 ・やまがたの情報(山形県関係文献目録、縣人文庫、デジタルライブラリー(県立図書館で所蔵している貴重資料のデジタル画像)、特定主題文献目録)のホームページ公開	・インターネットによる情報発信(ホームページ、Facebook、Twitterへのイベント・展示情報等の積極的な掲載及びイベント等の記録動画をYouTubeで配信) ・山形県関係文献目録、縣人文庫、デジタルライブラリー(県立図書館で所蔵している貴重資料のデジタル画像)、特定主題文献目録のホームページ公開	129,068の一部	・インターネットによる情報発信(ホームページ、Facebook、Twitterへのイベント・展示情報等の積極的な掲載及びイベント等の記録動画をYouTubeで配信) ・山形県関係文献目録、縣人文庫、デジタルライブラリー(県立図書館で所蔵している貴重資料のデジタル画像)、特定主題文献目録のホームページ公開	教育局生涯教育・学習振興課
奉仕活動事業費(県立図書館)	・資料情報の提供及び調査研究の援助活動 ・市町村立図書館等との相互協力及び読書活動の振興 ・縣人文庫展示室の運営(常設展示・企画展示)	・専門性の高いレファレンス(調査相談)の実施 ・市町村への調査相談事例の提供 ・縣人文庫の常設展示について、展示物の入れ替えを実施	2,061	・専門性の高いレファレンス(調査相談)の実施 ・市町村への調査相談事例の提供 ・テーマ設定による縣人文庫常設展示内容の展示替えの実施 ・常設展示22人以外で、時宜に合わせて活躍した県人の企画展示を実施	教育局生涯教育・学習振興課
ホームページによる情報発信	・山形県公式観光サイト「やまがたへの旅」で、紅花文化や出羽三山の精神文化、食文化等について、観光振興につながるよう紹介する。(県観光情報センターの指定管理料の一部で実施)	・リニューアルした山形県公式観光サイトにて、「スピリチュアルな旅」、「山形の美術館、博物館めぐり」を旅のテーマに位置づけ、広く県内の精神文化及び文化施設等の魅力を発信	37,609の一部	・魅力的と思われるような情報を継続して発信していくために、掲載内容及びコンテンツの見直しを図り、更なる魅力発信に努める。	観光復活推進課
<b>3 文化をはぐくむ因づくり</b>					
<b>(1) 県民の文化発信力の向上</b>					
県民芸術祭開催事業【再掲】	・県民の芸術文化活動に参加する意欲を醸成し、芸術文化に対する理解と関心を深め、先人から受け継いだ芸術文化の未来への創造と振興に資するため、県・生涯学習文化財団・県芸術文化協会からなる実行委員会を組織し、県民芸術祭を開催する。	・県民芸術祭に、県内各地の芸術文化団体の文化事業(展覧会、コンサート等)が参加(128団体) 開催期間 R4.9.1~R5.1.31 ・9月3日(日)に新庄市で開幕式典・記念公演を開催 ・特に優れた文化事業に県民芸術祭優秀賞等を贈呈	2,036	・県生涯学習文化財団、県芸術文化協会と連携しながら、県民の芸術文化活動に参加する意欲を醸成し、芸術文化に対する理解と関心を深め、芸術文化の振興に資するため、継続して県民芸術祭を開催する。	文化スポーツ振興課
博物館活動整備事業費【再掲】(山形県立博物館)	・企画展の開催 山形の宝である貴重な資料の展示や、本県の自然や歴史、精神文化などを分かりやすく解説する企画展を開催する。 ・学習会・研修会の実施 博物館で収蔵している優れた資料を県民に広く周知し、理解を深めるとともに博物館の機能強化のため更なるデータの蓄積・整理を行う機会とする。	・県立博物館において企画展を開催 プライム企画展「女神たちの饗宴—『縄文の女神』国宝指定10周年—」(令和4年10月~12月に開催) ・学習会・研修会の実施 博物館講座 6回 国宝土偶縄文の女神解説会 5回 古文書講座 12回 ・専門分野の調査研究の成果紹介や外部研究機関の協力を得て、地域の歴史・文化の理解を深めるための機会を提供した。	4,591	・企画展を開催する。 プライム企画展「高等女学校と実科高等女学校—青春の学びと生活—」および特別展「Bones—生き物の骨格はどうなっているのか—」を開催し、また、同時に開催する記念イベント等により、山形の歴史を知っていただくとともに、来館者増につなげ県の魅力を発信する。 ・学習会・研修会を実施する。 博物館の収蔵品や調査研究成果を紹介するセレクション展および学習会や研修会を開催し、地域の自然・歴史・文化に触れる機会を知を図る。	博物館・文化財活用課
博物館活動整備事業費【再掲】(山形県立博物館)	・県立博物館の移転整備に向けた検討を実施する。	・有識者懇談会の実施 ・参考事例訪問調査の実施	9,430	・専門家懇談会の実施 ・新博物館あり方検討事前調査の実施 ・参考事例訪問調査の実施	博物館・文化財活用課
<b>(2) 子どもの創造性等の育成</b>					
博物館活動整備事業費【再掲】(山形県立博物館)	・企画展の開催 山形の宝である貴重な資料の展示や、本県の自然や歴史、精神文化などを分かりやすく解説する企画展を開催する。 ・学習会・研修会の実施 博物館で収蔵している優れた資料を県民に広く周知し、理解を深めるとともに博物館の機能強化のため更なるデータの蓄積・整理を行う機会とする。	・県立博物館において企画展を開催 プライム企画展「女神たちの饗宴—『縄文の女神』国宝指定10周年—」(令和4年10月~12月に開催) ・学習会・研修会の実施 博物館講座 6回 国宝土偶縄文の女神解説会 5回 古文書講座 12回 ・専門分野の調査研究の成果紹介や外部研究機関の協力を得て、地域の歴史・文化の理解を深めるための機会を提供した。	4,591	・企画展を開催する。 プライム企画展「高等女学校と実科高等女学校—青春の学びと生活—」および特別展「Bones—生き物の骨格はどうなっているのか—」を開催し、また、同時に開催する記念イベント等により、山形の歴史を知っていただくとともに、来館者増につなげ県の魅力を発信する。 ・学習会・研修会を実施する。 博物館の収蔵品や調査研究成果を紹介するセレクション展および学習会や研修会を開催し、地域の自然・歴史・文化に触れる機会を知を図る。	博物館・文化財活用課

	事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度当初予算(千円)	令和5年度の方角性	担当課
	博物館活動整備事業費【再掲】 (山形県立博物館)	・ 県立博物館の移転整備に向けた検討を実施する。	・ 有識者懇談会の実施 ・ 参考事例訪問調査の実施	9,430	・ 専門家懇談会の実施 ・ 新博物館あり方検討事前調査の実施 ・ 参考事例訪問調査の実施	博物館・文化財活用課
	小・中学校教育課程編成・学習指導方法等改善充実事業	・ 小中学校に対する学習指導要領の趣旨(伝統や文化に関する教育の充実)について共通理解を図る協議会を開催する。	・ 小・中学校教育課程協議会に参加するとともに、県教育課程推進協議会及び教育課程地区別研究協議会を開催し、文部科学省の学習指導要領の趣旨及び県の学校教育指導方針等の資料に基づいて、動画や配布資料等を活用するなど共通理解を図った。	3,424	・ 小・中学校教育課程協議会に参加するとともに、県教育課程推進協議会及び教育課程地区別研究協議会、技能教科部会を開催し、文部科学省の学習指導要領の趣旨及び県の学校教育指導方針等について共通理解を図るようとする。	教育局義務教育課
	県高等学校総合文化祭共催負担金事業	・ 県教育委員会と県高等学校文化連盟で実施している県高等学校総合文化祭の経費の一部を県教育委員会が負担する。	・ 第46回県高等学校総合文化祭(庄内大会)を開催(R4.10.7~10.9)	806	・ 第47回県高等学校総合文化祭(置賜大会)の経費の一部を負担する。	教育局高校教育課
	特別支援学校におけるオーケストラ体感事業	・ 特別支援学校の児童等が、山形交響楽団のオーケストラ演奏を鑑賞するとともに、楽団員と一緒に演奏したり、地域の学校等や住民と交流を深めたりする。	・ 県立特別支援学校4校(鶴養、山養、山聳、上高養)で実施。児童生徒にとって貴重な体験となった。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、地域の学校や住民を招待することはできなかった。	735	・ 県立特別支援学校2校(酒特、山盲)で実施予定。 ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、実施方法を工夫する。また、地域の方の招待については感染状況に応じて検討する。	教育局特別支援教育課
	伝統芸能育成事業【再掲】	・ 伝統芸能や伝承文化等を記録保存する「ふるさと塾アーカイブス」のコンテンツの充実を図る。 ・ 伝統芸能や伝承文化等の指導者の資質向上、研修会、出前講座の開催する。	・ ふるさと塾アーカイブスに新規動画5本、英語表記動画4本を追加 ・ ふるさと塾登録団体の指導者が学校等で子どもたちに指導する出前講座、指導者の技能向上を目的とした指導者研修会を開催	2,119	・ 引き続き地域コミュニティの活性化と子どもの郷土愛の醸成及び社会力の育成を目指して伝統芸能育成事業の充実を図る。	教育局生涯教育・学習振興課
		・ 市町村の地域の文化等を伝承する活動基盤をより強固なものにするために、市町村が地域課題等の実態に合わせて計画した事業に対し事業費を交付する。(市町村総合交付金)	・ 30市町村に事業費を交付(交付事業) 市町村独自の団体の発表の機会の創出、フェスティバル等の開催 学校や放課後子ども教室等における体験の場の創出 民俗芸能の継承のための衣装や備品の更新や修復等	4,002	・ 引き続き総合交付金の理念に基づき、市町村が伝統芸能育成に関する課題に応じて主体的に解決できるように支援する。	教育局生涯教育・学習振興課
	伝統芸能育成事業【再掲】	・ 「ふるさと芸能のつどい」を開催する。 ・ 北海道東北ブロック民俗芸能大会への派遣事業を実施する。	・ やまがた伝統文化フェスタ内で「ふるさと芸能のつどい」を開催(R4.11.27) ・ 北海道・東北ブロック民俗芸能大会は、青森県で開催され、本県から1団体が参加(R4.10.16)	1,288	・ 引き続き山形県の伝統文化に触れる機会を充実させ、文化振興・郷土愛の情勢を図る。	博物館・文化財活用課
	学校・家庭・地域の連携協働推進事業	・ 「放課後子ども教室」の実施 すべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得ながら地域の実情に応じて実施する学習活動や体験活動の場を確保する。 ・ 地域の実情に応じた伝統行事や伝承活動に取り組む機会を創出する。	・ ふるさと塾賛同団体をはじめとした地域の民俗芸能や文化団体の会員が指導者となり、文化芸術体験活動プログラムを実施。地域で開かれた文化祭等で成果を発表	95,656の一部	・ 引き続き放課後子ども教室に係る経費の補助を行い、地域の実情に応じた形での文化芸術体験活動プログラムの実施を支援する。	教育局生涯教育・学習振興課
		・ 「放課後児童クラブ」の実施 屋間、保護者が家庭にいない児童の生活の場を確保する。 ・ 地域の実情に応じた伝統行事や伝承活動に取り組む機会を創出する。	・ 放課後児童クラブの創設、改築等の13施設の整備に対し補助(32,541千円) ・ 放課後児童クラブの運営を支援(1,285,494千円)	1,687,729	・ 引き続き、放課後児童クラブの整備及び運営に対し支援を行っていく。 (整備等補助 19,704千円、運営費補助1,668,025千円)	子ども成育支援課



事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度当初予算(千円)	令和5年度の方向性	担当課
わくわく！やまがた体験事業【新規】【再掲】	・幼い頃からの自然体験・文化体験等を通してふるさと山形への理解促進や郷土愛醸成を目的として、自然、文化、農業、ものづくり、県有施設など「山形らしさ」を体験できるコンテンツを組み合わせたバスツアーを実施する。	・109の保育施設においてバスツアーを実施し、2,938名がツアーに参加した。 開催時期：R4. 6. 9～R5. 3. 2	6,884	・対象を保育施設から親子に変更して、県内各地域の選りすぐりのメニューを揃えたバスツアーを実施し、より一層の郷土愛醸成、山形への理解促進を図る。	しあわせ子育て政策課
(3) 高齢者及び障がい者の文化活動の促進					
明るい長寿社会づくり推進事業費	・山形県社会福祉協議会が行う次の事業に対する助成を行う。 山形県健康福祉祭開催事業 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への代表選手等派遣事業	(1) 山形県健康福祉祭を開催した。 ・スポーツ交流部門は9月中旬～下旬を中心に開催。 ・美術展はR5. 2. 18～19に開催。 (2) 全国健康福祉祭の参加選手の選考及び派遣事業を行った。(R4. 11. 12～15に神奈川県で開催された全国大会に派遣)	11,030	・生きがいと健康づくりを通じた高齢者の社会参加を促進するため、引き続き事業を実施する。	高齢者支援課
学校・家庭・地域の連携協働推進事業【再掲】	・「放課後子ども教室」の実施 すべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得ながら地域の実情に応じて実施する学習活動や体験活動の場を確保する。 ・地域の実情に応じた伝統行事や伝承活動に取り組む機会を創出する。	・ふるさと塾賛同団体をはじめとした地域の民俗芸能や文化団体の会員が指導者となり、文化芸術体験活動プログラムを実施。地域で開かれた文化祭等で成果を発表	95,656の一部	・引き続き放課後子ども教室に係る経費の補助を行い、地域の実情に応じた形での文化芸術体験活動プログラムの実施を支援する。	教育局生涯教育・学習振興課
障がいのある人もない人も共生する社会づくり事業費【再掲】	・障がい者の芸術活動を幅広く県民に情報発信する拠点として「やまがた障がい者芸術活動推進センター」の活動を支援する。	・展覧会の開催を行う「やまがたアートサポートセンター（旧やまがた障がい者芸術活動支援センターR2. 7月名称変更）」の活動を支援 「きざしとまなざし2022やまがた障がい者芸術作品公募展」 (R4. 11. 3～16) 会場：悠創館 来場者数：683名	5,783	・引き続きやまがたやまがたアートサポートセンターが実施する活動を支援し、本県の障がい者芸術の振興と障がい者の自立と社会参加の促進を図る。	障がい福祉課
(4) 文化の担い手の育成及び確保					
文翔館創作劇場（山形県郷土館）	・音楽、演劇、舞台等の分野において、県民自らの創作意欲の向上を図るため、専門知識を持つ芸術文化協会等と連携し、県内アマチュアミュージシャン等の作品創作活動に対し指導や助言を行い、その成果として文翔館議場ホールや中庭等を舞台に、初演公演を実施し、未来の文化芸術の担い手を育成する。	・創作公演に対して指導・助言や支援を実施。 朗読と音楽の散歩道（R5. 2. 11）	1,209	・引き続き、音楽、演劇、舞台等の分野において、県民自らの創作意欲の向上を図るため、専門知識を持つ芸術文化協会等と連携し、県内アマチュアミュージシャン等の作品創作活動に対し指導や助言を行い、その成果として文翔館や遊学館を舞台に、初演公演を実施し、未来の文化芸術の担い手を育成する。	(公財)山形県生涯学習文化財団
伝統芸能育成事業【再掲】	・伝統芸能や伝承文化等を記録保存する「ふるさと塾アーカイブス」のコンテンツの充実を図る。 ・伝統芸能や伝承文化等の指導者の資質向上、研修会、出前講座の開催する。	・ふるさと塾アーカイブスに新規動画5本、英語表記動画4本を追加 ・ふるさと塾登録団体の指導者が学校等で子どもたちに指導する出前講座、指導者の技能向上を目的とした指導者研修会を開催	2,119	・引き続き地域コミュニティの活性化と子どもの郷土愛の醸成及び社会力の育成を目指して伝統芸能育成事業の充実を図る。	教育局生涯教育・学習振興課
伝統芸能育成事業【再掲】	・市町村の地域の文化等を伝承する活動基盤をより強固なものにするために、市町村が地域課題等の実態に合わせて計画した事業を支援する。(市町村総合交付金)	・30市町村に交付金を交付(交付事業) 市町村独自の団体の発表の機会の創出、フェスティバル等の開催 学校や放課後子ども教室等における体験の場の創出 民俗芸能の継承のための衣装や備品の更新や修復等	4,002	・引き続き総合交付金の理念に基づき、市町村が伝統芸能育成に関する課題に応じて主体的に解決できるように支援する。	教育局生涯教育・学習振興課
	・「ふるさと芸能のつどい」を開催する。 ・北海道東北ブロック民俗芸能大会への派遣事業を実施する。	・やまがた伝統文化フェスタ内で「ふるさと芸能のつどい」を開催（R4. 11. 27） ・北海道・東北ブロック民俗芸能大会は、青森県で開催され、本県から1団体が参加（R4. 10. 16）	1,288	・引き続き山形県の伝統文化に触れる機会を充実させ、文化振興・郷土愛の情勢を図る。	博物館・文化財活用課

	事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度 当初予算 (千円)	令和5年度の方向性	担当課
	こども郷土芸能芸術まつり	・県内文化ホールを活用し、日頃地域で郷土芸能や文化活動を行っている子ども達の発表の場を創出する。	・こども郷土芸能芸術まつり「未来につづけ文化のやまがた」を開催(11月20日(日)) 会場：やまぎんホール(来場者約500名) ・県内で郷土芸能や文化芸術活動に取り組む8団体の子ども達が一堂に会し、日頃の練習の成果を披露する場となった	2,520	・日頃、地域で郷土芸能や文化芸術活動に取り組む子ども達の発表の場を創出するため、県内文化ホールでの開催を予定し、子ども達の達成感の充実及び活動意欲の向上につなげていくことを支援する。	文化スポーツ振興課
	やまがたの伝統文化体験機会創出事業	・県内文化ホールを活用し、民俗芸能や伝統文化などを鑑賞したり体験してもらい、親子連れをはじめ広く県民に山形の伝統文化に親しんでもらう「やまがた伝統文化フェスタ」を開催する。	・県内各地に伝わる民俗芸能の披露や、伝統文化の体験教室を行う「やまがた伝統文化フェスタ」を開催(11月27日(日)) 会場：文翔館・遊学館・洗心庵、教育資料館 参加者数：延べ350名 ・茶道、華道、和楽器等の体験講座や、「ふるさと芸能のつどい」に、親子や学校の教師が参加	3,000	・山形県の各地域で守り継がれてきた民俗芸能や伝統文化などを体験できる機会を創出し、山形県の伝統文化に対する県民の理解を深め、郷土への愛着・誇りの醸成、伝統文化継承のための人材の育成を図る。	文化スポーツ振興課
(5) 顕彰						
	文化活動顕彰事業費	・芸術及び学術の分野で功績のあった個人又は団体に対し齋藤茂吉文化賞を贈呈する。 ・短歌の分野で優れた業績をあげた者に齋藤茂吉短歌文学賞を贈呈する。	・芸術及び学術の分野で功績のあった者に対し齋藤茂吉文化賞を贈呈(3個人) ・全国レベルの賞として、短歌の分野で優れた業績をあげた者に齋藤茂吉短歌文学賞を贈呈(1名)	3,336	・引き続き、齋藤茂吉文化賞及び齋藤茂吉短歌文学賞を贈呈し、本県文化の向上及び全国レベルの賞による文化発信地としての本県のイメージアップを図る。	文化スポーツ振興課
	輝く県民活躍大賞	・社会貢献活動に対する県民の関心を高め、積極的な参画を促すとともに、県民が様々な分野で活躍できる風土づくりを推進するため、本県の社会貢献活動や地域活性化に寄与する取組を「輝く県民活躍大賞」として顕彰し、その活動を広く県民に紹介する。	・ジュニア・ユース部門2団体、若者部門2団体、一般社会貢献部門3団体が受賞	653	・引き続き、本県の社会貢献活動や地域活性化に寄与する取組を「輝く県民活躍大賞」として顕彰し、その活動を広く県民に紹介する。	消費生活・地域安全課
4 文化を活用した社会づくり						
(1) 文化の活用による地域の活性化						
	文翔館街なか賑わい推進事業(山形県郷土館)	・周辺地区(山形市七日町)の行事と歩調を合わせ、「文翔館の日」を記念した各種イベントを実施し、多くの県民に来館してもらう。(予算は管理運営費から充当する)	・文翔館の日記念行事を開催(R4.10.18) ・時計塔見学会 ・シルクスクリーンプリント体験 ・講演会 ・ハロウィンナイト ・文翔館の日限定ドリンク販売 ・東北芸術工科大学生によるお楽しみエリア ・明治安田生命健康チェックブース ・やまがた秋の芸術祭 マーチングバンドの演奏	207	・令和5年度においても、周辺地区(山形市七日町)の行事と歩調を合わせ、「文翔館の日」を記念した各種イベントを実施し、多くの県民に来館してもらう。文化の振興を図る。(予算は管理運営費から充当する) ・また、みんぐるやまがたが引き続き開催を予定している「文化の回廊フェスティバル2024」への参画を検討する。	(公財)山形県生涯学習文化財団
	日本遺産魅力発信事業【再掲】	・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営に対する支援を行う。	・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営のための負担金の支出 人材育成事業：英語ガイド育成 普及啓発事業：親子を対象として伝統文化体験事業の実施 ・山口県や東京都で行われた全国イベントにおいて山形県の日本遺産をPRした。	1,900	・引き続き、出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営に対する支援や山形県の日本遺産のPRを実施する。	博物館・文化財活用課
	「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業【再掲】	・「未来に伝える山形の宝」登録制度を推進する。 ・登録された取組みへの支援を行う。(補助金) ・巡回パネル展やポータルサイトによる情報発信、普及啓発を行う。	・登録団体は、新たに2団体が登録し33団体となった。 ・登録団体の事業の支援(補助金)(5件) ・各団体の取組み状況を紹介するパネル展を実施 ・公式SNS等により、登録団体の活動状況について情報発信を行った。	3,006	・文化財の保存・活用に取り組んでいる団体の掘り起こしを行う。 ・山形県文化財保存活用大綱の基本方針に基づき、登録団体の取組みへの支援を行う。 ・登録団体の活動状況等について、ポータルサイト等で発信を続け、取組み事例を県内全域に広める。	博物館・文化財活用課

	事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度 当初予算 (千円)	令和5年度の方向性	担当課
(2) 文化の活用による経済の活性化						
	広域的文化交流事業	・山形交響楽団東京公演の開催を支援し、会場において、本県の音楽文化、観光、県産品のPR等を行う。	・山形交響楽団による東京公演が開催され、会場において、本県の観光・文化・県産品等をPR(6月22日(水)) 会場 東京オペラシティホール 入場者数 973人	1,620	・令和5年6月に東京オペラシティホールにおいて開催予定の山形交響楽団東京公演の開催を引き続き支援し、本県の魅力をPRする。	文化スポーツ振興課
	県産品輸出戦略事業	・県産品輸出コーディネーターを設置しながら、県産ブランドの取扱いパートナーの発掘・連携強化を図り、海外でのブランドの確立及び輸出拡大に向け、県産品販売プロモーションを実施する。	・県産品輸出コーディネーターの設置 ・重点地域(台湾、中国、香港、韓国、ASEAN)を中心とした農産物、日本酒、食品等県産品の販売プロモーションの実施 ・県産品の輸出パートナーの招へい等 ※コロナ禍で、現地との往来が制限されたため、販売プロモーションについて現地パートナーのみで対応したほか、商談会をオンラインで実施するなど、コロナ禍でも可能な形式で実施	30,297	・県産品輸出コーディネーターの設置 ・重点地域(台湾、中国、香港、韓国、ASEAN)を中心とした農産物、日本酒、食品等県産品の販売プロモーションの実施 ・県産品の輸出パートナーの招へい等	県産品流通戦略課
	県産農産物・食品輸出拡大強化事業	・県産品輸出コーディネーターを設置しながら、県産ブランドの取扱いパートナーの発掘・連携強化を図り、海外でのブランドの確立及び輸出拡大に向けて、農産物を始めとする県産品の販売プロモーションを実施する。	・県産品輸出コーディネーターの設置 ・海外における県産農産物輸出パートナーの招へい ・香港、台湾、マレーシア、タイ等における果実等県産農産物を中心とした販売プロモーションの実施 等	17,886	・県産品輸出コーディネーターの設置 ・輸出パートナーの発掘とコネクション形成及び県産ブランド取扱バイヤー招へい・商談会の実施 ・香港、台湾、マレーシア、タイ等における果実等県産農産物を中心とした販売プロモーションの実施 等	県産米・農産物ブランド推進課
	県産米等輸出拡大強化事業費	・有望な海外市場でのプロモーションや販路拡大に向けた情報収集等を通して、県産米等の輸出拡大を図る。	・米国カリフォルニア州において、日系ホテルにおける「つや姫」等県産品プロモーションを実施(R4.8.30) ・米国カリフォルニア州及びハワイ州において、日系スーパーにおける「つや姫」等県産品プロモーションを実施(R4.10.21~31) ・米国ハワイ州においてレストラン等における「つや姫」プロモーション及び現地メディアを活用した情報発信を実施(R4.12.2~12.7) ・カナダにおいて市場調査を実施	7,666	・米国カリフォルニア州において、レストランにおける「山形牛」及び「県産米」プロモーションの実施 ・オーストラリアにおいて、レストランにおける「山形牛」プロモーションの実施 ・米国ハワイ州において、小売店での「つや姫」等県産米販売プロモーションの実施	県産米・農産物ブランド推進課
(3) 文化の活用による観光振興						
	精神文化ツーリズム推進事業	・出羽百観音のブランド化と磨き上げを行い、観光誘客に資する地域資源として活用する。	・国内外の興味関心層に向けた誘客プロモーション動画を4本作成し、県の公式You Tubeチャンネル「やまがた日和」で公開するとともに、うち1本の動画でインストリーム広告を実施。また、「やまがたへの旅」の特集ページの充実やオンラインセミナー、プロモーションツアーの実施など、多角的な情報発信を行った。	10,870	・「やまがた出羽百観音」を人々から選ばれる訪問地とすべく、さまざまな媒体を活用した情報発信を行い、プロモーションを強化することにより、これまで作成した動画等をより多くの人に届け、「やまがた出羽百観音」のさらなる認知度向上を図る。	観光復活推進課
	欧米市場における富裕層を中心とした訪日関心層の東北への誘客促進事業	・旅行会社を招請し、オーダーメイド型の旅行商品の造成・販売を促進する。また、メディア招請やTravMediaを活用した海外メディアへの情報提供を通じ、東北の知名度向上と訪東北意欲の喚起を図る。	・10月旅行会社招請(アメリカ1社1名) 座禅体験、五重塔ライトアップ、宿坊宿泊、山伏修行体験 ・11月メディア招請(2名)、発信(3媒体) 最上峡芭蕉ライン舟下り、銀山温泉、山寺 ・1月旅行会社招請(イギリス1社1名) 酒田舞妓鑑賞 ・TravMediaによる情報発信 花笠祭り、山寺	1,000	東北運輸局や東北観光推進機構等と連携し、メディア及び旅行会社を招請し、旅行博等イベントに出展することで、本県の精神文化に係る認知度向上及び誘客拡大を図る。	観光復活推進課
	観光誘客総合推進事業	・多様な宣伝媒体やSNSなどを活用した文化の魅力を含む観光情報を発信し、認知度向上及び誘客促進を図る。	・県内の日本遺産や精神文化等のコンテンツについて観光パンフレットへの掲載、SNSによる情報発信など、県内外へのPRを行った。	39,763 の一部	・引き続き観光パンフレットへの掲載、SNSによる情報発信など、県内外へのPRを行い、認知度向上及び誘客促進を図る。	観光復活推進課

	事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度当初予算(千円)	令和5年度の方向性	担当課
	「山寺と紅花」観光誘客推進事業	・日本遺産「山寺と紅花」を活用しての仙台圏に向けた誘客キャンペーンを実施する。	・パンフレット「紅花のみち」を活用した旅行商品造成に対する支援(9件) ・仙台市中心部(仙台三越前)において、紅花プランター(20台)による紅花ストリート設置による誘客活動 ・県内銀行3行の仙台市内等15支店への紅花(切り花)の展示とパンフレットの配置 ・宮城県内の高速道路SA・PAへのパンフレット「紅花のみち」の配置 ・河北ウイークリー(R4.6.23発行)への管内等の紅花まつり情報を掲載 ・山寺地区(山寺観光協会)の門前店舗前や参道等への紅花プランター(20台)の展示と店舗における紅花(切り花)の展示	574	・引き続き、仙台市内・山寺地区において、紅花展示等によるPRを展開するほか、「山寺と紅花」に関する旅行商品造成への支援や紅花をテーマとした映画の上映会を開催し、認知度向上と観光誘客の促進を図る。	村山総合支庁産業経済部地域産業経済課 観光振興室
	地域観光素材発掘育成等支援事業	・山形おきたま観光協会が実施する、城館群「伊達四十八館」の観光活用基盤確立に向けた情報発信、プロモーション、機運醸成、広域連携等の取組に対し支援する。	・城館予想復元イラストの制作(WEBページへの記載を含む) ・旅行会社のツアー造成への支援 ・インフルエンサー(4名)を招聘し、モニターツアーの実施 ・花の名所と城館跡を巡るウォーキング企画「花×伊達な城館ウォーク2022」の実施(計7回) ・AR等導入検討のため、秋田城跡歴史資料館視察	305	・「花×伊達な城館ウォーク2023」の実施(計8回)により、観光振興への活用促進。 ・「伊達氏と置賜城館群」をテーマとしたセミナーの開催により、機運醸成を図る。 ・「伊達四十八館」の知名度向上を図るため、各種広告の掲載に助成を行う。 ・音声ガイドサービスやスタンプラリー導入により、観光誘客の増進を図る。	置賜総合支庁産業経済部地域産業経済課 観光振興室
	国宝羽黒山五重塔ライトアップ事業	・国宝羽黒山五重塔を7月中旬から10月末まで期間限定でライトアップ等を行い、観光誘客を図る。(予算額は実行委員会への負担金)	・実行委員会を組織し、ライトアップ・プロジェクトマッピングを実施 【実施期間】 ライトアップ R4.7.16~10.16の土日等 35日間 プロジェクトマッピング R4.9.17~9.19 3日間	600	・令和5年度も引き続き実行委員会を組織して実施し、精神文化を活かした観光振興を促進する。 ・今年度から2か年事業で五重塔の大規模修繕が行われるため、ライトアップに代わる事業を実施。	庄内総合支庁産業経済部地域産業経済課 観光振興室
	日本遺産魅力発信事業【再掲】	・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営に対する支援を行う。	・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営のための負担金の支出 人材育成事業:英語ガイド育成 普及啓発事業:親子を対象として伝統文化体験事業の実施 ・山口県や東京都で行われた全国イベントにおいて山形県の日本遺産をPRした。	1,900	・引き続き、出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、「山寺と紅花」推進協議会の運営に対する支援や山形県の日本遺産のPRを実施する。	博物館・文化財活用課
	やまがたの誇れる景観魅力発信事業	・山形ならではの美しい景観を体感できる「『やまがた景観物語』おすすめビューポイント」を選定し、景観に関わる歴史や物語等の情報をあわせて発信することで、「景観を保全する県民意識の醸成」と「景観を活用した多様な交流による地域活性化」に結び付ける。	・景観ビューポイントの追加指定と動画コンテンツ等の作成 ・Instagramフォトコンテストとビューポイント写真展を開催 ・市町村と連携し、小中学生向け「景観出前授業」と地域住民を対象とした「景観探検まちあるき」を実施 ・芸工大、広告業団体と連携した「広告景観コンテスト」を実施	3,399	・景観ビューポイントのガイドブックの発行と動画コンテンツ等の作成を行う。 ・Instagramフォトコンテストとビューポイント写真展を開催する。 ・市町村と連携し、小中学生向け「景観出前授業」と地域住民を対象とした「景観探検まちあるき」を実施する。 ・芸工大、広告業団体と連携した「広告景観コンテスト」を実施する。	県土利用政策課
(4) 文化に関する情報発信及び交流の推進						
	文化・スポーツ交流支援事業	・県内に拠点を有する団体が実施する文化又はスポーツによる海外や県外との交流を促進する事業又は県外の文化・スポーツ団体が県内の文化・スポーツ施設・宿泊施設を利用して行う文化・スポーツ合宿及び練習・交流試合、大会を実施する事業を支援により、地域活性化や交流人口拡大を推進する。	・県内で合宿を行う県外の文化・スポーツ団体への助成を実施(文化合宿を行う団体への支援実績:1件)	3,000	・地域活性化や交流人口拡大を推進するため、引き続き県内文化・スポーツ団体が実施する交流イベントや、県外文化・スポーツ団体の県内合宿誘致に対する支援を行う。	文化スポーツ振興課
	文化団体等連携推進事業【再掲】	・東北各県及び文化団体等とネットワークを緊密にし、連携による文化施設等の機能の強化を図るための具体的な推進策について検討する。 ・「東北文化の日」の推進のため、東北圏内の文化の情報を取りまとめ、パンフレットやホームページ等で効果的に情報発信する。	・「東北文化の日」の推進のため、東北圏内の文化の情報を取りまとめ発行したパンフレットに、県内では51施設、60イベントを掲載 ・遊学館1階展示ブースにおいて、「東北文化の日」に関する展示を行い、県内参加施設やイベントの紹介を行うなど、効果的な情報発信に取り組んだ。	92	・引き続き東北各県及び文化団体等とネットワークを緊密にし、連携による文化施設等の機能の強化を図るため、「東北文化の日」を契機として、東北圏内の文化の情報を取りまとめ、パンフレットやホームページ等で効果的に情報発信していく。	文化スポーツ振興課

事業名	事業の概要	令和4年度の実施状況	令和5年度当初予算(千円)	令和5年度の方向性	担当課
ホームページによる情報発信【再掲】	・山形県公式観光サイト「やまがたへの旅」で、紅花文化や出羽三山の精神文化、食文化等について、観光振興につながるよう紹介する。(県観光情報センターの指定管理料の一部で実施)	・リニューアルした山形県公式観光サイトにて、「スピリチュアルな旅」、「山形の美術館、博物館めぐり」を旅のテーマに位置づけ、広く県内の精神文化及び文化施設等の魅力を発信	37,609の一部	・魅力的と思われるような情報を継続して発信していくために、掲載内容及びコンテンツの見直しを図り、更なる魅力発信に努める。	観光復活推進課
精神文化ツーリズム推進事業【再掲】	・出羽百観音のブランド化と磨き上げを行い、観光誘客に資する地域資源として活用する。	・国内外の興味関心層に向けた誘客プロモーション動画を4本作成し、県の公式You Tubeチャンネル「やまがた日和」で公開するとともに、うち1本の動画でインストリーム広告を実施。また、「やまがたへの旅」の特集ページの充実やオンラインセミナー、プロモーションツアーの実施など、多角的な情報発信を行った。	10,870	・「やまがた出羽百観音」を人々から選ばれる訪問地とすべく、さまざまな媒体を活用した情報発信を行い、プロモーションを強化することにより、これまで作成した動画等をより多くの人に届け、「やまがた出羽百観音」のさらなる認知度向上を図る。	観光復活推進課

＜参考＞ 山形県文化推進基本計画 進捗状況を把握するための指標の状況

	指標設定の考え方	参考指標	指標設定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
基本的施策1	着実に文化が受け継がれるとともに、新しい文化が創造され、ともに発展することが目指す姿であることから、県民の文化の継承・創造活動等に関する数値を指標とします。	「ふるさと塾」活動に賛同して伝承活動を行う団体数(累計)	304団体	307団体	307団体	297団体	302団体	308団体
文化の振興等		県民芸術祭参加事業数	162事業	162事業	142事業	中止 (新型コロナ)	103	128
		「未来へ伝える山形の宝」登録取組数(累計)	26件	27件	29件	29件	33件	33件
基本的施策2	県民誰もが生涯を通じて文化を鑑賞し、参加し、創造することができる環境が整備され、喜びや感動、心の安らぎを享受していることが目指す姿であることから、県民の文化情報へのアクセスや文化施設の利用状況等に関する数値を指標とします。	(公財)山形県生涯学習文化財団がHPで提供する「講座・イベント」「総合情報サイト」へのアクセス数(累計)	11,651件	16,802件	11,308件	8,865件	19,603件	13,653件
文化に親しむ環境づくり		県立文化施設等の来館者数	870,200人	786,624人	718,998人	583,242人	926,826人	1,122,781人
基本的施策3	文化活動の主役である県民の自主性、創造性が尊重され、その地位向上が図られるとともに、能力を十分に発揮していることが目指す姿であることから、文化に関わる人材の育成等に関する数値を指標とします。	総合型文化クラブ実施数	4件	4件	3件	2件	3件	3件
文化をはぐくむ人づくり		山形県総合美術展への30才以下の出品者数	36人	28人	22人	中止 (新型コロナ)	28人	30人
		文化分野を活動分野とする団体数(累計)	1,249団体	1,154団体	1,115団体	1,068団体	1,054団体	1,018団体
基本的施策4	県民が郷土の文化に誇りと愛着を持ち、国内外に文化を積極的に発信し、文化を通じた多様な交流が行われていることが目指す姿であることから、県民による文化の発信や交流に関する数値を指標とします。	県内の文化ホールで開催されている全国・東北規模の文化イベント開催数	9件	3件	6件	1件	8件	15件
文化を活用した社会づくり		文化施設共通企画展開催数	9件	11件	10件	5件	18件	21件
		県外での文化交流実施数	25件	31件	39件	2件※	10件※	23件※

※R02以降はオンラインによる交流も含む。